

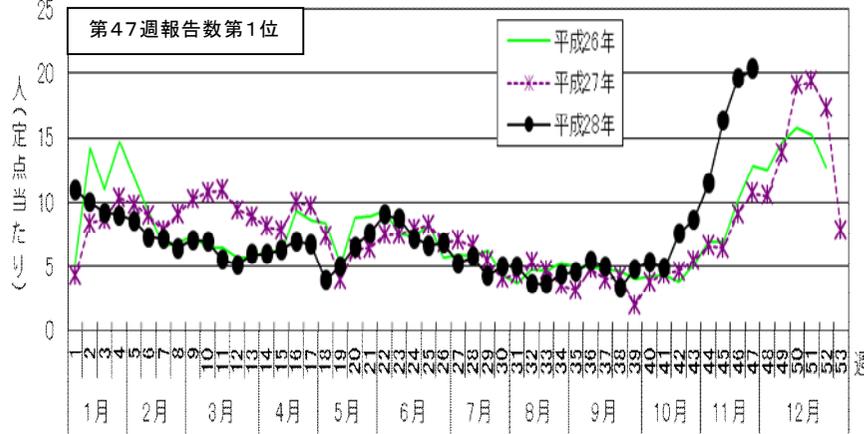
今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】

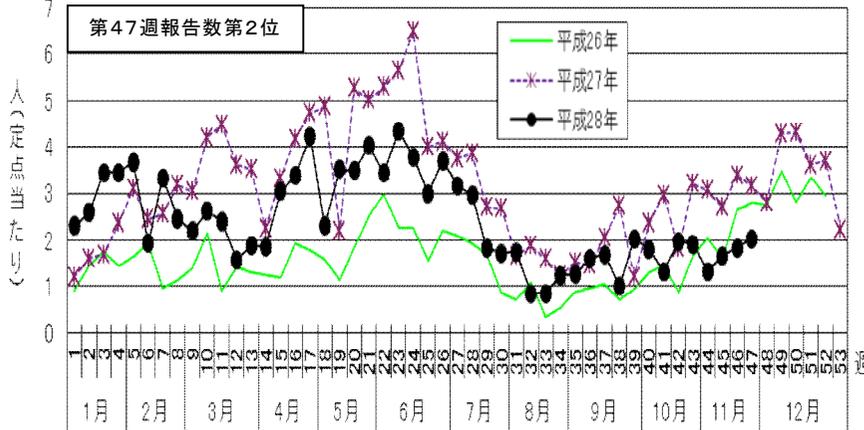
平成28年11月21日（月）～平成28年11月27日（日）〔平成28年第47週〕の感染症発生状況

第47週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1) 感染性胃腸炎 2) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 3) 流行性角結膜炎でした。感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は20.31人と前週（19.58人）から横ばいで、例年より高いレベルで推移しています。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり患者報告数は2.03人と前週（1.83人）から増加し、例年並みのレベルで推移しています。流行性角結膜炎の定点当たり患者報告数は1.78人と前週（2.78人）から減少し、例年よりかなり高いレベルで推移しています。

感染性胃腸炎発生状況(3年間)

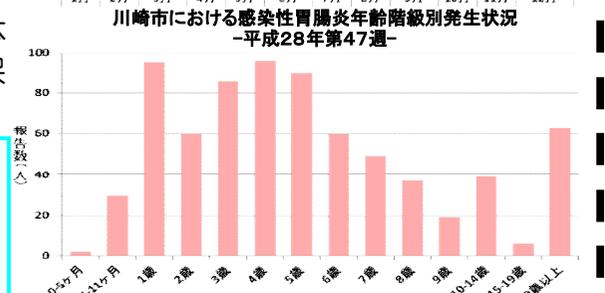
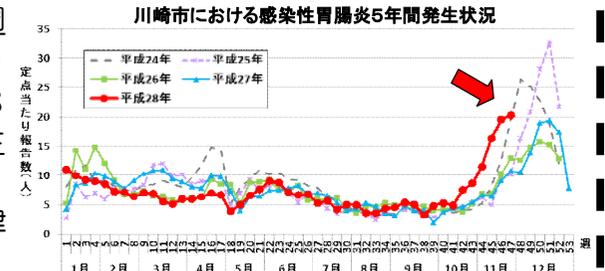


A群溶血性レンサ球菌咽頭炎発生状況(3年間)



～感染性胃腸炎流行発生警報発令！～

川崎市において、感染性胃腸炎の第47週（平成28年11月21日～11月27日）の定点当たり患者報告数が前週の19.58人から増加し20.31人となり、流行発生警報基準値（定点当たり患者報告数：20.00人）を超えました。特に、川崎区、高津区、宮前区からの報告が多くなっています。年齢階級別では1歳～5歳の小児が全体の58.4%を占めており、嘔気・嘔吐で保育園を欠席するお子さんも増えています。



感染性胃腸炎について

病原体 ウィルス、細菌など

※毎年11月～1月にノロウィルスを原因とした胃腸炎がピークを迎えます。

《ノロウィルスについて》

感染経路 経口感染

潜伏期間 24～48時間

主な症状 吐き気、嘔吐、下痢、腹痛、発熱

※特に子どもや高齢者は水分と栄養の補給を十分にいき、体力を消耗しないようにしましょう。

